

令和3年度 小野町防災研修

防災気象情報の活用について



はれるん
(気象庁マスコットキャラクター)

本日の内容

1. 警戒レベルと防災気象情報
2. 予測資料とその活用
(キキクル (危険度分布) と
流域雨量指数の予測値)
3. 災害への心構え

大雨による主な災害

雨の降り方や降る場所によって、もたらされる災害が異なります

大雨

自分の地域で起こり得る災害を事前に把握しておくことが大切です

土砂災害



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される。

上流での大雨により下流域が土石流に襲われる場合もある。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、急激に斜面が崩れ落ちる。

浸水害



内水はん濫

河川の水位の上昇や流域内の多量の降雨などにより、河川外における住宅地などの排水が困難となり浸水する。

洪水害

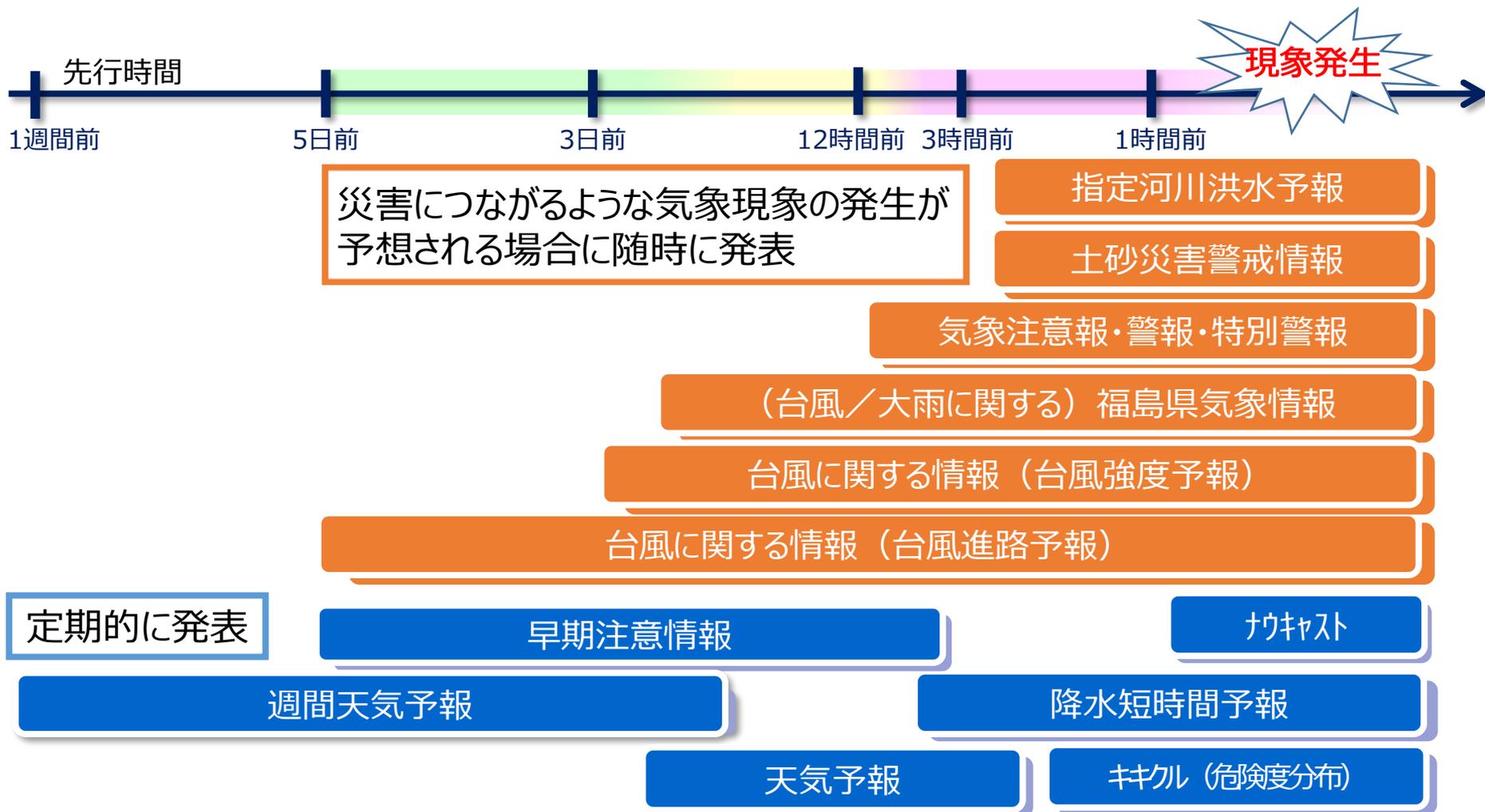


外水はん濫

内水はん濫の対語として、河川のはん濫を「外水はん濫」ともいう。

その場所だけではなく、上流域の大雨による川の増水やはん濫にも注意を払う必要がある。

防災気象情報は時間を追って段階的に発表



気象庁では先行時間の異なる防災気象情報を段階的に発表している
先行時間が短くなるほど

- ⇒ 対象地域や期間、現象の強さ（雨量など）は正確になる
- ⇒ 状況が切迫し、避難等の安全確保行動の選択肢は狭まる

5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒
レベル

相当する
警戒
レベル

5	住民が取るべき行動	市町村の対応
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない

気象庁等の情報		5相当
大雨 特別警報	非キクル (危険度分布)	氾濫 発生情報

<警戒レベル4までに必ず避難！>

4	・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)
---	--	--------------------------------------

土砂災害 警戒情報	高潮 警報	高潮 特別 警報	※2 極めて 危険	氾濫 危険情報	4相当
			非常に 危険		

3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)
---	---	---

※1 大雨警報 洪水警報	高潮警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	警戒 (警報級)	氾濫 警戒情報	3相当
--------------------	---------------------------------	-------------	------------	-----

2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)
		第1次防災体制 (連絡要員を配置)

大雨警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	高潮 注意報	注意 (注意報級)	氾濫 注意情報	2相当
大雨注意報 洪水注意報				

1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認
---	--------------------	---------------------------

早期 注意情報 (警報級の 可能性)				
-----------------------------	--	--	--	--

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。
 ※2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みにご活用することが考えられます。

早期注意情報（警報級の可能性）

警戒レベル 1

気象状況	気象庁の情報	
大雨の数日 ～ 約1日前	早期注意情報 天気予報の発表地域ごとに発表	気象情報（随時）
大雨の半日～数時間前	大雨注意報 市町村単位で発表	
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報 市町村単位で発表	
	大雨特別警報 市町村単位で発表	

キキクル危険度分布

土砂災害警戒情報

指定河川洪水予報

・5日先までに命に危険が及ぶような警報級の現象が予想されているときには、その可能性を [高] [中] の2段階で発表。

福島県中通りの早期注意情報（警報級の可能性）

中通りでは、〇〇日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

種別	福島県中通り						
	警報級の可能性						
	21日		22日		23日	24日	25日
夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く					
大雨	6-18	18-6	6-24	[中]	[中]	[中]	-
暴風	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-

求められる対応

災害への心構えを一段高める

- ・ 職員の連絡体制や要員の確保
- ・ 資機材等の確認
- ・ 今後の気象情報に留意
- ・ 危険な箇所、避難場所や避難ルートを事前に確認しておく。



注意報

(警報の発表が見込まれる場合はその旨を明記)

警戒レベル2

気象状況	気象庁の情報	
大雨の数日 ～ 約1日前	早期注意情報 天気予報の発表地域ごとに発表	気象情報 (随時) キキクル危険度分布
大雨の半日～数時間前	大雨注意報 市町村単位で発表	
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報 市町村単位で発表	指定河川洪水予報 土砂災害警戒情報
	大雨特別警報 市町村単位で発表	

・注意報は、災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報。警報の発表が見込まれる場合は、その旨を記述。

福島県の注意警戒事項

福島県では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意してください。

小野町 [発表] 大雨、洪水注意報

5日夜遅くまでに大雨警報に切り替える可能性が高い

発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移 (■警報級 ■注意報級)								備考・関連する現象	
	5日					6日				
	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9		9-12
小野町										
1時間最大雨量 (ミ)	30	30	30	40	60	60	40	40	40	
大雨 (浸水害)					■	■				浸水注意
大雨 (土砂災害)					■	■				土砂災害注意
洪水 (洪水害)										

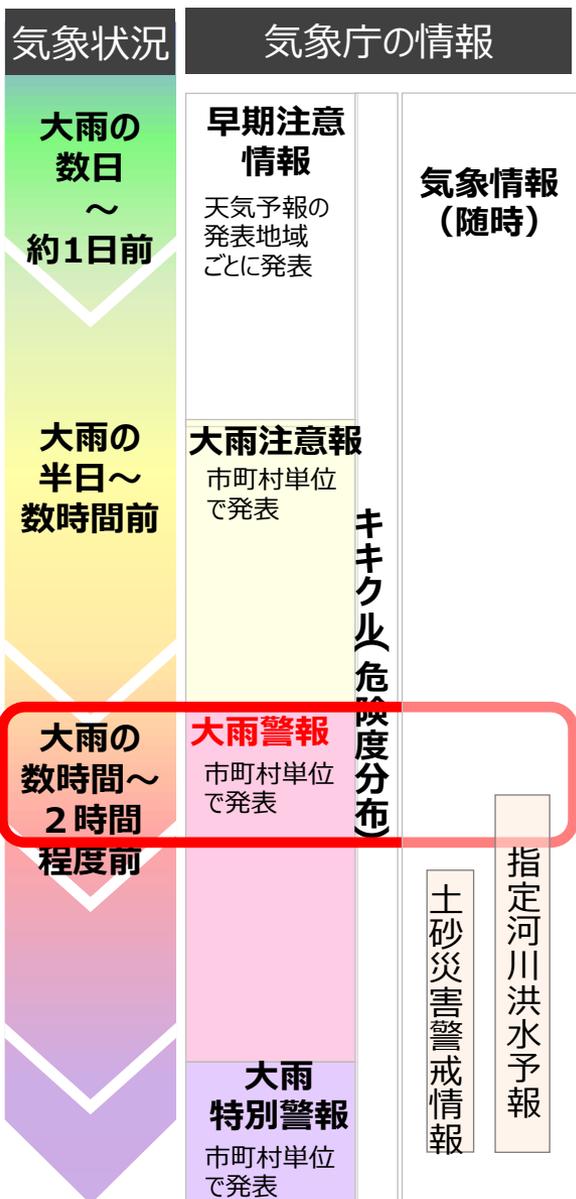
求められる対応

- ・ 連絡要員を配置
- ・ 現象があまり激しくならない段階での避難情報の発令を意識し、防災気象情報をチェック
- ・ 災害に備えた早めの準備
- ・ ハザードマップ等でとるべき行動を再確認



大雨・洪水警報 (高潮警報に切り替える可能性が高い注意報)

警戒レベル3相当



- ・ **重大な災害が起こるおそれ**のあるときに警戒を呼びかけて行う予報。
- ・ 市町村の発表する**高齢者等避難 (警戒レベル3)**に相当。

福島県の注意警戒事項

福島県では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に警戒してください。

=====
小野町 [発表] 大雨 (浸水害、土砂災害) , 洪水警報

小野町		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)									備考・関連する現象
		5日				6日					
発表中の警報・注意報等の種別		12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	
大雨	1時間最大雨量 (ミ)	60	60	40	40	40	40	40	40	40	
	(浸水害)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	浸水警戒
	(土砂災害)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	土砂災害警戒
洪水	(洪水害)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	氾濫

求められる対応

- ・ **高齢者等避難の発令を検討**
- ・ 気象台の発表する最新の気象情報に留意
- ・ どこで、どのような危険が切迫しているのか、キキクル (危険度分布) をこまめに確認

・「高齢者」及び「障がいのある人」は避難を検討・開始

警戒レベル4相当の情報

警戒レベル4相当

気象状況	気象庁の情報	
大雨の数日 ～ 約1日前	早期注意情報 天気予報の発表地域ごとに発表	気象情報 (随時)
大雨の半日～ 数時間前	大雨注意報 市町村単位で発表	
大雨の数時間～ 2時間程度前	大雨警報 市町村単位で発表	
	大雨特別警報 市町村単位で発表	

キキクル危険度分布

指定河川洪水予報

土砂災害警戒情報

・土砂災害警戒情報

命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、都道府県と共同で発表。

・氾濫危険情報（指定河川洪水予報）

水位が氾濫危険水位に到達し、いつ氾濫してもおかしくない状態であることを示す情報。国土交通省や都道府県と共同で発表。

・キキクル（大雨、洪水警報の危険度分布）でうす紫色の表示

・高潮警報、高潮特別警報

求められる対応

- ・避難指示の発令を検討
- ・気象台の発表する最新の気象情報に留意
- ・どこで、どのような危険が切迫しているのか、キキクル（危険度分布）をこまめに確認

- ・土砂災害や浸水害の危険のある場所から、全員避難する。
- ・大雨や暴風で避難所への移動が危険な場合は、近隣の安全な場所や2階以上の少しでも安全な場所へ退避

Point
早め早めの行動を！



土砂災害警戒情報

【気象庁と都道府県の共同発表】大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報。【警戒レベル4相当】

福島県土砂災害警戒情報 第2号

令和元年10月12日 15時30分

福島県 福島地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】

郡山市* いわき市* 白河市* 須賀川市* 相馬市 二本松市* 田村市* 南相馬市
 伊達市* 桑折町* 国見町* 川俣町* 天栄村* 西郷村* 柳川町* 瑞* 鮫川村*
 石川町* 玉川村* 平田村* 浅川町* 古殿町* 三春町* 小野町* 広野町* 楢葉町*
 川内村* 大熊町* 浪江町* 葛尾村* 飯館村

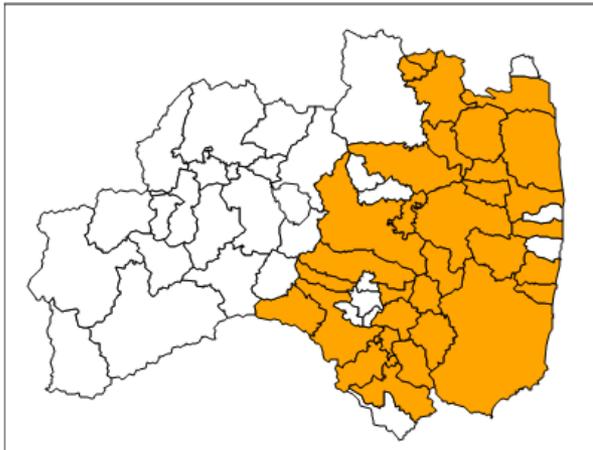
*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】

<概況>
 降り続く大雨のため、土砂災害警戒区域等では命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です。

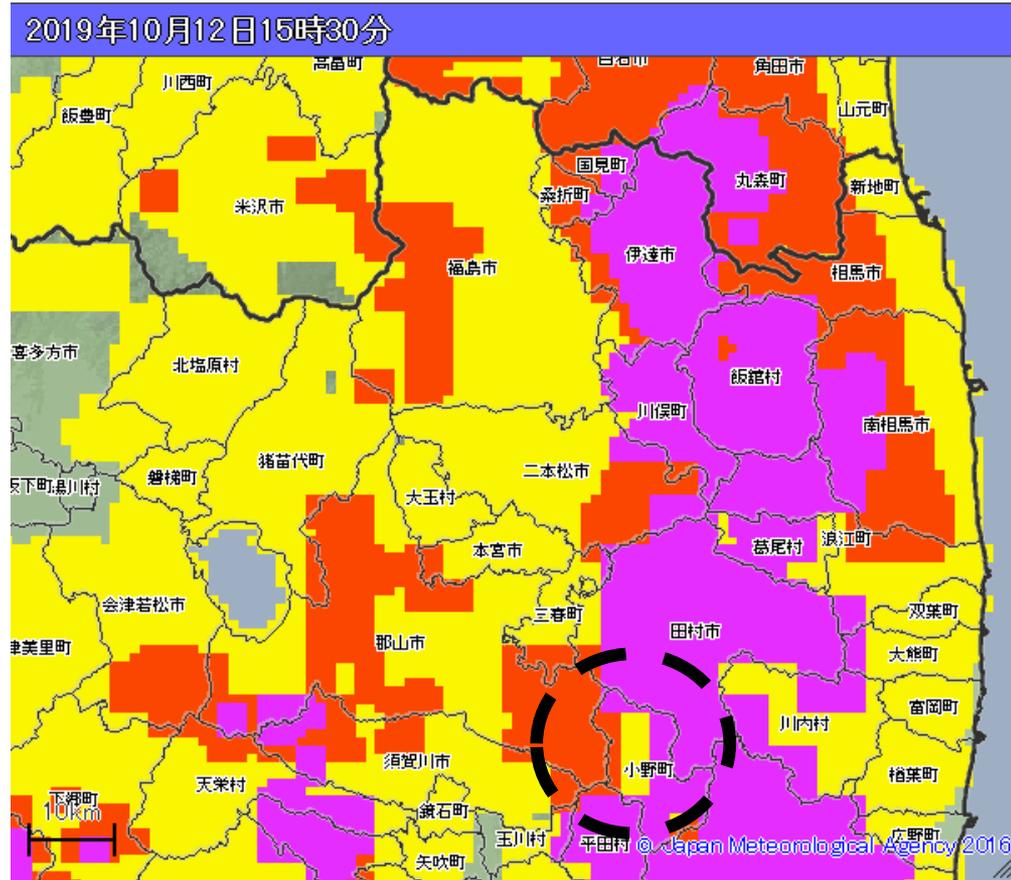
<とるべき措置>
 避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報【土砂災害】】。崖の近くや谷の出口など土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、市町村から発令される避難勧告などの情報に留意し、少しでも安全な場所への速やかな避難を心がけてください。

<補足情報>
 市町村内で危険度が高まっている区域は、福島県や気象庁のホームページ等でも確認できます。福島県「福島県河川流域総合情報システム」、気象庁「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」



警戒対象地域

2019年10月12日15時30分



特別警報 (重大な災害の恐れが著しく高まっている)

警戒レベル5相当

気象状況

気象庁の情報

大雨の
数日
～
約1日前

早期注意 情報

天気予報の
発表地域
ごとに発表

気象情報 (随時)

大雨の
半日～
数時間前

大雨注意報

市町村単位
で発表

キキクル危険度分布

大雨の
数時間～
2時間
程度前

大雨警報

市町村単位
で発表

大雨 特別警報

市町村単位
で発表

土砂災害警戒情報

指定河川洪水予報

・警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害のおそれが著しく高まっている場合に発表。

福島県の注意警戒事項

【特別警報（大雨）】中通りに特別警報を発表しています。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に最大級の警戒をしてください。

福島市 **[発表]** 大雨特別警報（土砂災害、浸水害）
[継続] 洪水警報

福島市		今後の推移 (■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)								備考・ 関連する現象	
		5日						6日			
発表中の 警報・注意報等の種別		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	70	70	70	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	
	(浸水害)	■	■	■	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	浸水警戒
	(土砂災害)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	土砂災害警戒
洪水	(洪水害)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	氾濫
雷		■	■	■	■	■	■	■	■	■	竜巻

求められる行動

・すでに実施済みの措置の内容を再度確認
特別警報が発表されてから
避難指示の発令を検討するのは手遅れ

・特別警報が出た時点で既に避難が完了
・立退き避難することがかえって危険である場合、直ちに全確保



本日の内容

1. 警戒レベルと防災気象情報
- 2. 予測資料とその活用
(キキクル (危険度分布) と
流域雨量指数の予測値)**
3. 災害への心構え

5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報				相当する警戒レベル	
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	キキクル (危険度分布)	氾濫 発生情報	5 相当		
<警戒レベル4までに必ず避難！>								
4	・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報	高潮 警報	高潮 特別警報	※2 極めて危険 非常に危険	氾濫 危険情報	4 相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	※1 大雨警報 洪水警報	高潮警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	警戒 (警報級)	警戒 (警報級)	氾濫 警戒情報	3 相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	高潮 注意報	注意 (注意報級)	注意 (注意報級)	氾濫 注意情報	2 相当
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	大雨注意報 洪水注意報	早期 注意情報 (警報級の 可能性)				

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

※2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

大雨による災害発生のリスクを表す指数

大雨の降っている場所は
気象レーダーで把握可能

↓
災害の発生する場所・時間とは、
必ずしも一致しない

土壌雨量指数

表面雨量指数

流域雨量指数

雨がしみ込んで
土壌中に溜まる量

土砂災害のリスク

雨がしみ込まず
地表面に溜まる量

浸水害のリスク

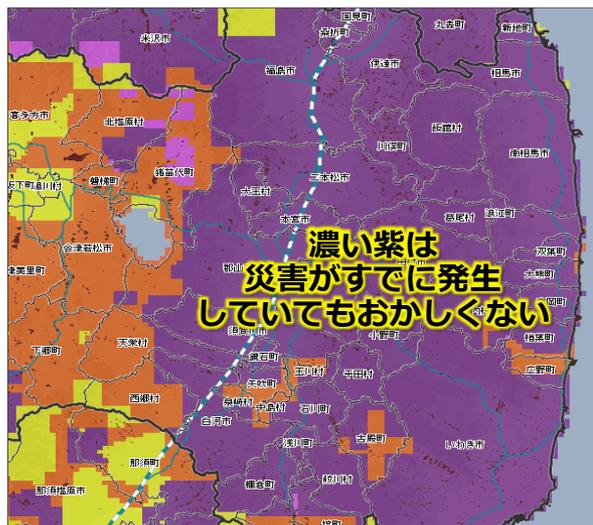
雨が上流域から集まり
河川を流れ下る量

洪水害のリスク

- 警報等の基準は、この指数と過去の災害を比較しながら作成。
- 暫定基準は指数基準から一定割合を減じて設定（例：2/14適用 大雨警報（土砂災害））

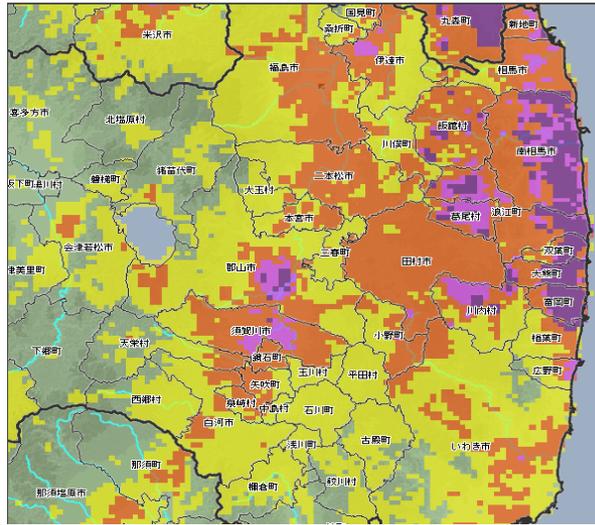
キキクル（危険度分布）の活用

危険な地域・中小河川を視覚的に判断できる（情報は10分更新）



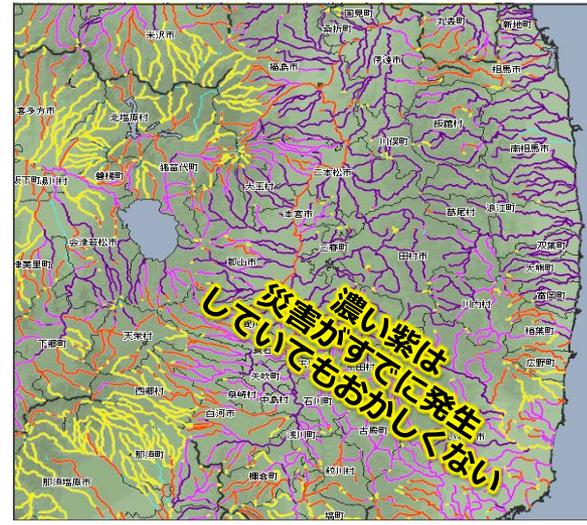
キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）

1 km格子毎に
2時間先まで予測



キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）

1 km格子毎に
1時間先まで予測



キキクル（洪水警報の危険度分布）

1 km格子毎に
3時間先まで予測

➤ キキクル（危険度分布） <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

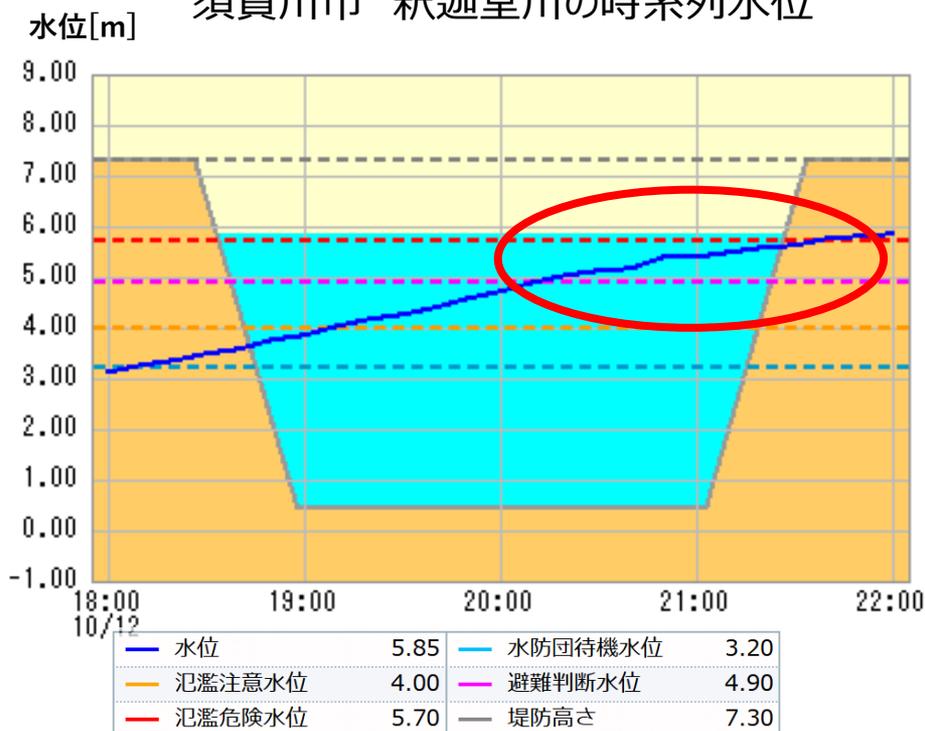
土砂災害、浸水害、洪水害の危険度の高まりを色で確認

台風第19号の大雨による水位の上昇 (令和元年10月12日)

- ・中小河川においては水位の上昇が急であった。
- ・須賀川市の釈迦堂川では、高齢者等避難の目安である、避難判断水位 (LV3) から、避難指示の目安である氾濫危険水位 (LV4) に到達するまで1時間20分。
- ・いわき市の好間川では水防団待機水位 (LV1) に到達後わずか20分足らずで氾濫危険水位 (LV4) に到達。

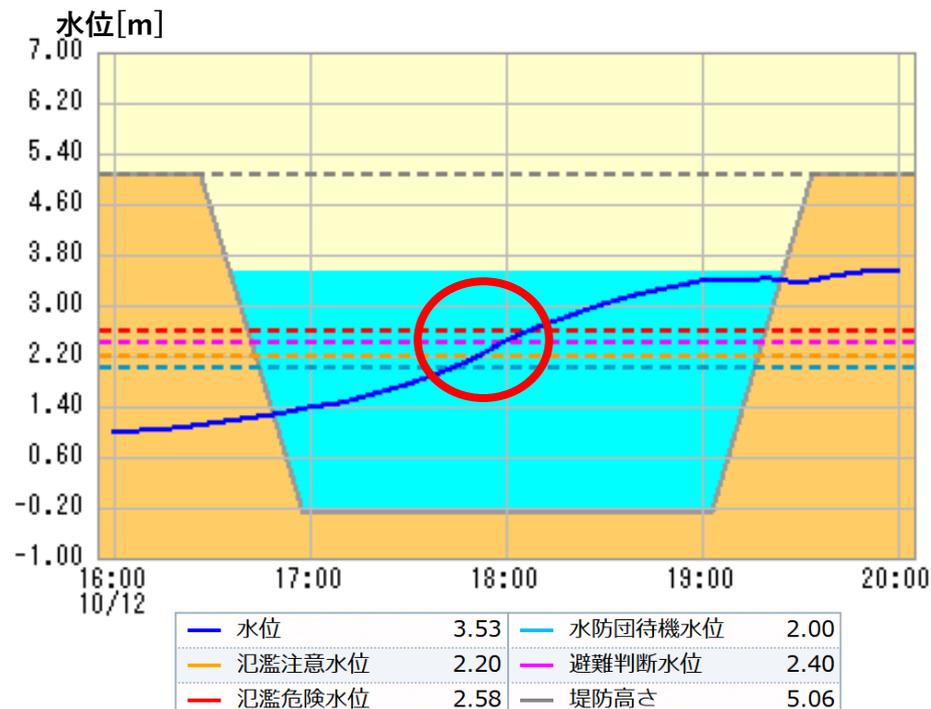
夜間ということもあり、水位の状況を確認してから避難することは困難だった。

須賀川市 釈迦堂川の時系列水位



福島県流域総合情報システムから引用

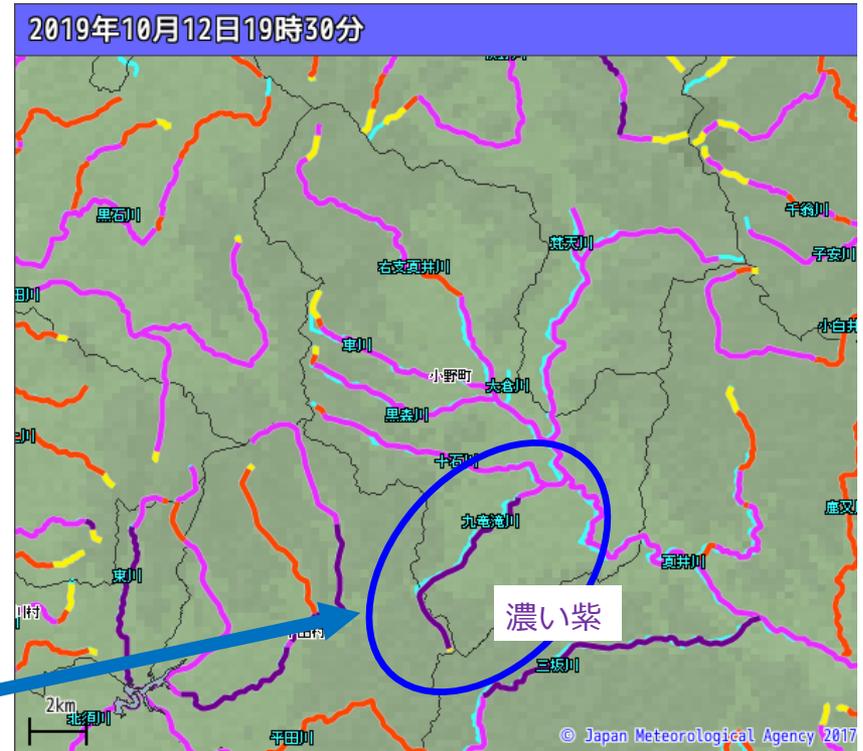
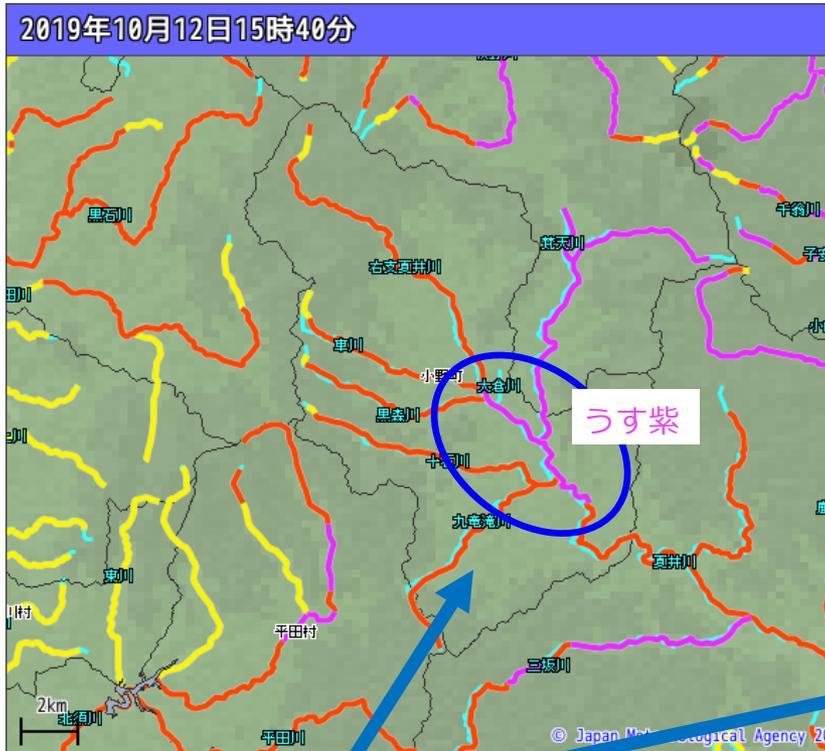
いわき市 好間川の時系列水位



福島県流域総合情報システムから引用

キキクル (洪水警報の危険度分布)

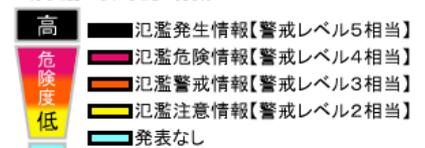
(令和元年10月12日)



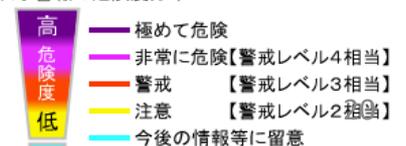
**「濃い紫」が出現した段階では、避難が困難になっているおそれがあるため、
「うす紫」(警戒レベル4相当)が出現した時点で、避難指示について検討を！**

指定河川洪水予報

【国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。】



洪水警報の危険度分布



流域雨量指数の予測値

(令和元年10月12日)

6時間先までの
予測値を表示

令和1年10月12日15時00分現在

市区町村	基準河川	基準Ⅲ			基準Ⅱ (警報基準)		基準Ⅰ (注意報基準)		02時	03時	04時	05時	06時	07時	08時	09時	10時	11時	12時	13時	14時	既往 最大事例
		単独 基準	単独 基準	複合 基準	単独 基準	複合 基準	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	30分	
小野町	右支夏井川	18.6	16.9		13.5	10.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	2.8	3.3	3.9	4.7	16 (2011.09.21)	
	夏井川	14.4	13.1		10.4	7.6	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	2.8	3.2	3.3	3.3	12.7 (2011.09.21)	
	黒森川	5.7	5.2		4.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.4	1.7	1.7	4.9 (1994.09.29)	
	十石川	8.1	7.4		5.9	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.4	2.0	2.4	7.1 (2013.09.15)	

15時00分の時点で、19時30分には既往最大値を超える！警戒レベル4相当を予想！

実況値・予測値による表示河川の絞込み

- 全て表示
- 基準Ⅰ 、 以上【警戒レベル2相当】
- 基準Ⅱ 、 以上【警戒レベル3相当】
- 基準Ⅲ 以上【警戒レベル4相当】

令和1年10月12日15時30分現在

市区町村	基準河川	基準Ⅲ			基準Ⅱ (警報基準)		基準Ⅰ (注意報基準)		03時	04時	05時	06時	07時	08時	09時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	既往 最大事例
		単独 基準	単独 基準	複合 基準	単独 基準	複合 基準	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分	00分		
小野町	右支夏井川	18.6	16.9		13.5	10.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	2.2	3.0	3.7	4.1	5.5	8.0	12.8	16.7	18.8	20.0	20.3	16 (2011.09.21)	
	夏井川	14.4	13.1		10.4	7.6	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	2.0	3.2	3.2	4.0	4.0	5.6	9.1	12.6	15.0	16.8	17.4	12.7 (2011.09.21)	
	黒森川	5.7	5.2		4.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.4	1.7	1.7	2.8	4.1	4.9	5.4	5.7	5.9	4.9 (1994.09.29)	
	十石川	8.1	7.4		5.9	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	2.0	2.8	2.8	4.0	5.8	7.1	7.9	8.5	8.9	7.1 (2013.09.15)	

15時30分の時点で、19時以降は警戒レベル4相当が継続する予想！

実況値・予測値による表示河川の絞込み

- 全て表示
- 基準Ⅰ 、 以上【警戒レベル2相当】
- 基準Ⅱ 、 以上【警戒レベル3相当】
- 基準Ⅲ 以上【警戒レベル4相当】

キキクル（洪水警報の危険度分布）のうす紫は 警戒レベル4相当！ 自ら避難の判断を！

中小河川においては水位の上昇が急であるため、特に夜間は水位の状況を確認してから避難することは困難。

警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、警戒レベル3相当（赤）や4相当（うす紫）の段階で避難することが重要。



本日の内容

1. 警戒レベルと防災気象情報
2. 予測資料とその活用
(キキクル (危険度分布) と
流域雨量指数の予測値)
3. 災害への心構え

人は、「自分が災害に巻き込まれる」とはなかなか考えられないものです。

正常性バイアス(偏見)

大雨で家の近くの川が増水しているけど、今まであふれたことはないから大丈夫だろう。

大雨警報が発表されているけど、まあ、大したことはないだろう。

洪水警報が発表されているけど、誰も避難していないから大丈夫だろう。

同調性バイアス(偏見)

災害から身を守るためには、いち早く、
正常性バイアスや同調性バイアスに気づくことが重要

災害への心構え

**災害は「まさか」ではなく、
「いつか」は起きるものと認識せよ！**

「自分（自市町村）は大丈夫」とは思わない！



大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！



大雨による災害の留意事項②

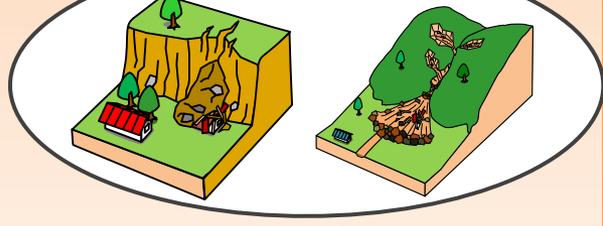
大雨がやんでも…

土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

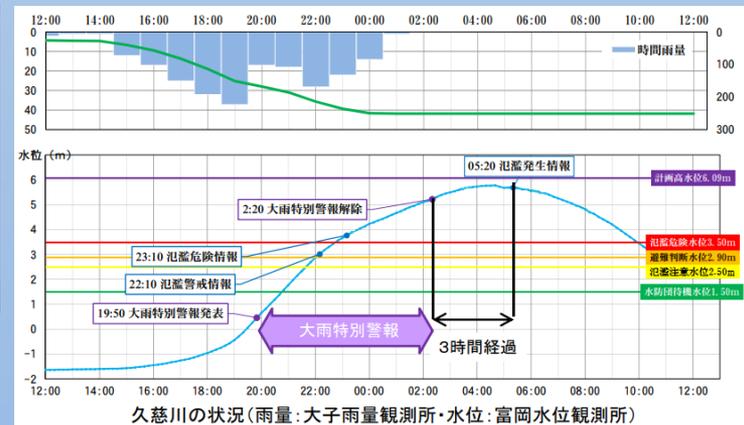


土砂災害が発生！



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。

